

(電子メール施行)  
農技第1455号  
平成27年11月5日

関係機関長 様

兵庫県病害虫防除所長

病害虫発生予察予報第6号を発表します。

平成27年度病害虫発生予察予報 第6号

向こう1か月の病害虫発生予想

作物名	病害虫名	発生予想	発生現況
トマト	トマト黄化葉巻病	平年並	やや少
	灰色かび病	やや少	少
	コナジラミ類	平年並	やや少
キャベツ	菌核病	やや少	少
	アブラムシ類	平年並	やや少
ハクサイ	白斑病	やや少	少
	黒斑病	やや少	少
	べと病	やや少	少
	アブラムシ類	平年並	やや少
ダイコン	白さび病	やや少	少
	アブラムシ類	平年並	やや少
レタス	菌核病	平年並	やや少
	灰色かび病	やや少	少
	ビッグベイン病	平年並	やや少
	アブラムシ類	平年並	やや少
イチゴ	ハモグリバエ類	平年並	やや少
	うどんこ病	やや少	少
	灰色かび病	やや少	少
	アブラムシ類	やや少	少
	ハダニ類	平年並	やや少

# 近畿地方 1か月予報

(11月7日から12月6日までの天候見通し)

平成27年11月5日  
大阪管区气象台 発表

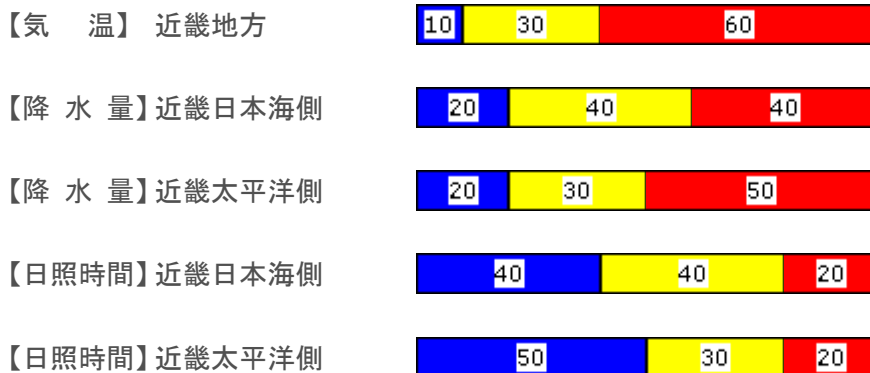
## <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。近畿日本海側では、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。降水量は、近畿日本海側で平年並または多い確率ともに40%、近畿太平洋側で多い確率50%です。日照時間は、近畿日本海側で平年並または少ない確率ともに40%、近畿太平洋側で少ない確率50%です。

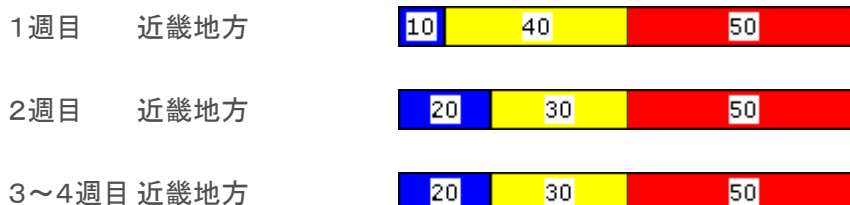
週別の気温は、1週目は、高い確率50%です。2週目は、高い確率50%です。3～4週目は、高い確率50%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



凡例:  低い(少ない)  平年並  高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



凡例:  低い  平年並  高い

## 発生概況及び防除対策上の留意点

### トマト

#### 1 【トマト黄化葉巻病】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
- (2) 予報の根拠
- ア 10月中旬の県予察ほ調査では、発生は認めなかった。
- イ 本病の媒介昆虫であるタバココナジラミの発生は後述のとおり、平年並の発生程度と予想されるが、発生量は今後緩やかに増加し、本病の感染機会が減少することはなく、平年並の発生で推移すると考えられる。
- (3) 防除対策上の留意点
- ア 本病は、発病株から保毒したタバココナジラミが伝搬することから発病株は速やかに抜き取り処分すること。
- イ トマト黄化葉巻病に関する資料は、下記のアドレスを参照すること。
- <http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/TYLCVippanH24.pdf>

#### 2 【灰色かび病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 10月中旬の県予察ほ調査では、発生は確認されなかった。
- イ 向こう1か月の気温はやや高く、降水量は平年並と予想されており、やや少ない発生で推移すると考えられる。

#### 3 【コナジラミ類】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
- (2) 予報の根拠
- ア 10月中旬の県予察ほ調査によると、本虫（タバココナジラミ）の発生株率は3.3%、株当たり成虫数は1頭とやや少ない発生であった。
- イ 向こう1か月の気温はやや高いと予想されており、ハウス内は降雨の影響を受けないため、今後の発生は平年並で推移すると考えられる。

### キャベツ

#### 1 【菌核病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 10月上旬の病害虫防除員および県予察ほ調査では、発生は確認されなかった。
- イ 向こう1か月の気温はやや高く、降水量ともに平年並と予想されており、発生をやや助長すると考えられる。

## 2 【アブラムシ類】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並  
(2) 予報の根拠

ア 10月上中旬の病害虫防除員の調査では確認されず、10月下旬の、県予察ほ調査では、本虫の発生株率は16%、株とやや少ない発生であった。

イ 向こう1か月の気温はやや高く、降水量は平年並と予想されており、平年並の発生で推移すると考えられる。

## ハクサイ

### 1 【白斑病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少  
(2) 予報の根拠

ア 10月上中旬の現地ほ場調査では、発生を認めなかった。

イ 向こう1か月の気温はやや高く、降水量は平年並と予想されており、やや少ない発生で推移すると考えられる。

### 2 【黒斑病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少  
(2) 予報の根拠

ア 10月中旬の現地ほ場調査では、発生を認めなかった。

イ 向こう1か月の気温はやや高く、降水量は平年並と予想されており、やや少ない発生で推移すると考えられる。

### 3 【べと病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少  
(2) 予報の根拠

ア 10月中旬の現地ほ場調査では、発生を認めなかった。

イ 向こう1か月の気温はやや高く、降水量ともに平年並と予想されており、やや少ない発生で推移すると考えられる。

### 4 【アブラムシ類】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並  
(2) 予報の根拠

ア 10月中旬の現地ほ場調査でわずかに発生が認められた。

イ 向こう1か月の気温はやや高く、降水量は平年並と予想されており、平年並の発生で推移すると考えられる。

## ダイコン

### 1 【白さび病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少  
(2) 予報の根拠

ア 10月中旬の県予察ほ調査、県予察ほ調査での発生を認めなかった。

イ 向こう1か月の気温はやや高く、降水量は平年並と予想されており、やや少ない発生で推移すると考えられる。

## 2 【アブラムシ類】

(1) 予報の内容 発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 10月中旬の県予察ほ調査では、発生を認められなかったが、現地ほ場で発生が認められた。

イ 向こう1か月の気温はやや高く、降水量は平年並と予想されており、平年並の発生で推移すると考えられる。

## レタス

### 1 【菌核病】

(1) 予報の内容 発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 10月中旬の現地ほ場で平年より本病の早い発生が確認された。

イ 向こう1か月の気温はやや高く、降水量は平年並と予想されていることから、病気の伸展は平年並に推移すると考えられる。

### 2 【灰色かび病】

(1) 予報の内容 発生量：やや少

(2) 予報の根拠

ア 10月中旬の現地ほ場査では、発生を認めなかった。

イ 向こう1か月の気温はやや高く、降水量は平年並と予想されていることから、やや少ない発生で推移すると考えられる。

### 3 【ビッグベイン病】

(1) 予報の内容 発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 10月中旬の現地ほ場で平年より早い本病の発生が確認された。

イ 向こう1か月の気温はやや高く、降水量は平年並と予想されていることから病気の拡大はやや遅いが、近年土壌中の病原ウイルス（ミラフィオリレタスビックベインウイルス）密度が上昇していることから平年並の発生で推移すると考えられる。

### 4 【アブラムシ類】

(1) 予報の内容 発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 10月中旬の現地ほ場調査でわずかに発生が認められた。

イ 向こう1か月の気温はやや高いと予想されており、今後トンネル被覆により発生に好適な環境になることから平年並の発生で推移すると考えられる。

### 5 【ハモグリバエ類】

(1) 予報の内容 発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 10月中旬の現地ほ場調査でわずかに発生が認められた。

イ 向こう1か月の気温はやや高いと予想されており、今後トンネル被覆により発生に好適な環境になることから平年並の発生で推移すると考えられる。

## イチゴ

### 1 【うどんこ病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少  
(2) 予報の根拠

ア 10月中旬の病害虫防除員調査および現地ほ場において発生を認めなかった。

イ 向こう1か月の気温はやや高く、降水量は平年並と予想されており、やや少ない発生で推移すると考えられる。

### 2 【灰色かび病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少  
(2) 予報の根拠

ア 10月中旬の病害虫防除員調査および現地ほ場において発生を認めなかった。

イ 向こう1か月の気温はやや高く、降水量は平年並と予想されており、やや少ない発生で推移すると考えられる。

### 3 【アブラムシ類】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少  
(2) 予報の根拠

ア 10月中旬の病害虫防除員調査および現地ほ場において発生を認めなかった。

イ 向こう1か月の気温はやや高いと予想されているが、今後ハウスへ侵入する機会は少なくなることから、やや少ない発生で推移すると考えられる。

### 4 【ハダニ類】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並  
(2) 予報の根拠

ア 10月中旬の病害虫防除員調査および現地ほ場において発生が認められた。

イ 向こう1か月の気温はやや高いと予想されており、ハウス内はハダニ類の発生・増殖に好適な環境になることから平年並の発生で推移すると考えられる。

**\* この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載  
(<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/>)**